

# ちはやあかさか 議会だより

祝

第 100 号

平成 24 年 5 月 1 日

発行 千早赤阪村議会

編集 議会広報編集委員会

〒585-8501

大阪府南河内郡

千早赤阪村大字水分 180 番地

TEL 0721 - 72 - 0081

FAX 0721 - 72 - 1880

## — 内 容 —

第 100 号記念特集…………… 2～5

3 月定例会あらまし…………… 6

全員協議会報告等…………… 7

いっぱん質問…………… 8～9

次回議会日程等…………… 10

ページ





喜田 肇さん (写真家)

議会広報100号おめでとうございます。議員の皆様、行政に感謝しております。広報は全体的に読ませていただいておりますが、その中で質問、回答の後に「検討する」「努力する」「要望していく」と書かれています。何か雲をつかむ様に思うのです。回答の文を村民にお聞かせのほど。



小裏悦治さん (水分)

議会だよりで、村政の内容が分かりやすく書かれています。一般質問をよく読みますので、今後も続いて発行を！  
元気な村・自立の村づくりを押し進めてほしいです。



尾谷竜作さん (ミュージシャン)

独特の空気感、時の流れがある。やさしい風が吹く。きれいな棚田がある。挨拶をする伝統がある。ご近所のつながり助けあいとは天下一品。こんな良い環境の村で育ってよかった。未来の理想を述べるより村の自慢や感謝の思いばかりが出てきます。そんな「心のふるさと」千早赤阪村であり続けてほしいと思います。



彼塚正子さん (川野辺)

“百枚の田を一枚に 春の雪”  
草樹も芽吹くいい季節、空気のきれいなただ一つの村に住み風雪六十年、これからも楽しく二人三脚で歩みたいと思います。犯罪と交通事故のない平和な村であってほしいと願います。広報で色々知り学び楽しく読んでおります。



尾花美穂さん (創刊時生まれ)

自分の住んでいる村の事をいろいろと知ることができます。もっと写真やイラストなど目が引くものがあつたらとも思います。これからも人の温かさを感じられる住みよい村になるような身近な広報であって欲しいです



日下朋美さん (中学3年生)

今、千早赤阪村は、自然がいっぱいで緑豊かで、棚田もとてもキレイで、住民の人もすごく優しい方がいっぱいいて、とってもいい村だと思います。私が大人になった時も、自然がいっぱいあって、今みたいに、いい所がいっぱいある村であってほしいです。けど今よりもちょっと便利になってほしいなあって思います。

# みなさまの声



## 議会だより第100号記念特集



「議会だより」や村政について、みなさまから感想や意見・要望をお聞きしました。



西野敏彦さん (区長会会長)

いつも読んでいます。先ず拾い読み、しばらくして一気に通読しています。村の将来、地域の不安等村の一步先を読めます。一度当村を訪れた人は「また行ってみたい」と思われる村になってほしいです。今後も大きな字で解りやすく読みやすい広報をお願いします。



斉藤咲子さん (小吹台)

私たちが千早赤阪村に住もうと思ったきっかけは、子育てに最適だと思ったからです。先日6才になる長女が「みんなが少しずつ我慢したらハッピーになるんだよ」と3才の妹に教えていました。聞くと幼稚園の先生方が教えてくださったようです。私たちのような若い夫婦が安心して子育てのできる豊かな環境で、豊かな教育を、これからも期待します。



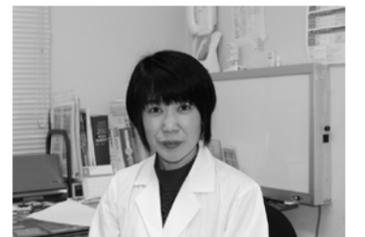
徳澤幸治さん (元千早駐在所)

議会だより100号記念おめでとうございます。この風光明媚で自然豊かな大阪府で唯一の村、千早赤阪村が今後ますます発展されますよう、私たち駐在所勤務員も皆様とともに頑張りたいと思います。



合尾麻理さん (新成人)

村がどのような動きがあるのかよく分かっていると思います。地域の方々の意見をもっと取り入れればいいと思います。そして、興味をそそるような村のアピールをもっとしてほしいです。



大澤佳代さん (国保診療所医師)

人口が少ないからこそできるこまやかな住民サービスこそ、この村の魅力と感じています。今後も「いっぱい質問」にあるようにさまざまな視点から問題を取り上げ、村政を支えていただくことを議員の皆様にはお願いしたいと思っています。

### みなさまの声にお応えします

編集委員会はこれまで、議会改革の一環として、村民の皆様にも身近な議会、分かりやすい「議会だより」をモットーに取り組んできました。

今回、「議会だより第100号」の発刊によせて、村民の皆様から暖かいご意見や感想を頂きました。

皆様の声を大事にして、これからもより一層読みやすい議会だよりをお届けしてまいります。

# ～ 3月定例会のあらまし ～

平成24年第1回（3月）千早赤阪村議会定例会は3月5日に開会し、条例改正や規約の変更協議、平成23年度の補正予算、平成24年度当初予算など計21議案が上程され、それぞれ可決しました。3月21日の定例会最終日では、一般質問を行い、17日間の定例会を閉会しました。

3月定例会議決結果		
案件名		議決結果
・第1号議案	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の改正について	原案可決(全員)
・第2号議案	特別職及び教育長の給与の特例に関する条例の改正について	原案可決(多数)
・第3号議案	税条例の改正について	〃
・第4号議案	介護保険条例の改正について	原案可決(全員)
・第5号議案	ひとり親家庭の医療費の支給に関する条例の改正について	〃
・第6号議案	介護従事者処遇改善臨時特例基金条例廃止について	〃
・第7号議案	外国人登録法の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例について	〃
・第8号議案	南河内環境事業組合理約の変更に関する協議について	〃
・第9号議案	河南町、太子町及び千早赤阪村介護認定審査会共同設置規約の変更に関する協議について	〃
・第10号議案	河南町、太子町及び千早赤阪村障害者給付認定審査会共同設置規約の変更に関する協議について	〃
・第11号議案	平成23年度一般会計補正予算（第5回）について	〃
・第12号議案	平成23年度国民健康保険特別会計補正予算（第2回）について	〃
・第13号議案	平成23年度介護保険特別会計補正予算（第2回）について	〃
・第14号議案	平成24年度一般会計予算について	原案可決(多数)
・第15号議案	平成24年度国民健康保険特別会計予算について	〃
・第16号議案	平成24年度介護保険特別会計予算について	原案可決(全員)
・第17号議案	平成24年度後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決(多数)
・第18号議案	平成24年度下水道事業特別会計予算について	原案可決(全員)
・第19号議案	平成24年度金剛山観光事業特別会計予算について	〃
・第20号議案	平成24年度水道事業会計予算について	〃
・第21号議案	平成23年度一般会計補正予算（第6回）について	〃

## 主な案件の内容



### ○第2号議案

#### 特別職及び教育長の給与の特例に関する条例の改正について

契約事務に関し不適切な事務処理が発覚したことから、村長・副村長・教育長の給料を減額するもの。

### ○第4号議案

#### 介護保険条例の改正について

平成24年度からの保険料基準月額を4,760円とし、被保険者の負担能力に応じたきめ細かな所得段階区分を設定するため、保険料区分を10段階に細分化するもの。

### ○第3号議案

#### 税条例の改正について

地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、たばこ税率の引上げ、個人村民税の分離課税に係る所得割の特例措置の廃止、東日本大震災に係る雑損控除の改正、個人村民税の均等割額の特例措置を行うもの。

### ○第11号議案

#### 平成23年度一般会計補正予算（第5回）について

同報系防災行政デジタル無線の整備や府後期高齢者医療広域連合への負担金精算、退職手当、事業確定による減額などにより、2億5千956万円を追加するもの。

# 全員協議会 報告

2月21日開催

▼高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（第5期）素案について

増加する高齢者や多様なニーズに対応した施策の拡充・重点化が必要となっており、平成24年度から26年度を計画期間とし本計画を策定する。

▼国民健康保険疾病予防事業の拡充について

平成24年4月1日より、国民健康保険に加入している満20歳から39歳までを対象に現在40歳以上の方に実施している特定健康診査と同程度の内容の若年健康診査を実施する。

また、人間ドックの受診について、自己負担額を現行の5割から3割に引き下げる。

▼富田林地内(嶽山)の水道管理道路について

本村と富田林地との協定に基づいて、水道管理道路の用地の境界確定を行い、富田林地へ道路の無償譲渡及び道路施設の維持管理を引き渡す。

▼過疎地域自立促進特別措置法の概要について

国において、現行法の期限延長と指定要件見直しの議論が予定されている。本村においても過疎法が適用されるよう、指定要件の見直しを要望していく。

▼随意契約に係る契約事務に関する調査について

不適切な見積り徴収による契約事務が行われていることが判明したため、関係職員を処分し、研修・事務処理方法の改善を行う。

3月12日開催

▼障がい者計画（第2次）素案について

本計画は、障がい者施策の理念や基本方針を定

## 議会活動日誌

2月

- 5日・金剛山樹氷まつり
- 8日・広報編集委員会
- 9日・農業委員会
- 10日・南河内環境事業組合議会
- 13日・広報編集委員会  
・市町村トップセミナー
- 14日・南河内農業委員会研修会
- 15日・広域水道企業団議会

める計画であり、当初計画の評価・見直しを行い今後の施策の方向性を明確にするため策定する。

▼障がい福祉計画（第3期）素案について

障がいのある人の地域移行や一般就労への移行についての数値目標の設定、福祉サービスの必要量確保のため計画を策定する。

3月

- 16日・国保運営協議会
- 21日・全員協議会
- 27日・高齢者保健福祉計画等推進委員会
- 28日・議会運営委員会  
・会計監査
- 1日・広報編集委員会
- 2日・府町村議長会定期総会
- 5日・村議会定例会（初日）
- 6日・産業建設常任委員会
- 7日・総務民生常任委員会
- 8日・農業委員会
- 9日・広報編集委員会
- 12日・全員協議会  
・議会改革推進委員会  
・幹事長、代表者会議
- 13日・中学校卒業式



4月

- 14日・議会運営委員会  
・広報編集委員会
- 16日・こごせ幼稚園卒業園式
- 19日・赤阪、千早小吹台小学校卒業式
- 21日・村議会定例会（最終日）
- 24日・山ゆり作業所総会
- 25日・楠公史跡保存会総会
- 29日・会計監査  
・障がい者計画等策定委員会
- 4日・広報編集委員会
- 6日・赤阪、千早小吹台小学校入学式
- 9日・こごせ幼稚園入園式  
・中学校入学式
- 10日・広報編集委員会  
・農業委員会
- 20日・遺族会慰霊祭
- 25日・楠公祭
- 26日・会計監査



# いっぱん質問



田中 博治 議員

## 防災行政無線のスピーカーを早急に設置できないか

**問** 高い確率で大地震の発生が予測されている。もしかすると一年後いや明日かもしれない。人間の力では、その発生を防ぐことはできないが、日頃の備えで被害を減少させることは可能と思われる。

**早速**、この3月の補正予算での国・府に対する村長の素早い対応に感謝を申し上げ、新設の防災放送設備の設置についての考え方を松本村長に伺う。

**答** 南三陸町職員の最後まで避難の呼び掛けが報道された。区長宅や学校等に配備している移動系の村の防災システムでは、村民に伝達できる仕組みにはなっていない。

## 妊婦健康診査の助成額の拡充を

**問** 妊婦の健康管理と経済負担の軽減を図り、安心して、妊娠、出産ができる体制を確保するために、公費負担の拡充を図れないか伺う。

**答** 府が実施した実態調査では、経済的な理由が未受診の原因と

今回のデジタル無線を新設することにより、地区の避難場所等20カ所に設置されるスピーカーから音声で放送され、緊急情報が同時に一斉に伝達される。一日も早く整備を進め、安心・安全な村づくりに進んで行きたいと思う。



防災行政無線（イメージ）

判明した。

本村では、人口の維持と子育て支援を重点施策に挙げており、今後は若い人を定着させ、安心して妊娠・出産・子育てできるように、4月より5万1千円から11万6千円に拡充を行う。

3月定例会では、4人の議員が一般質問を行いました。内容（560字以内）は、質問した議員の責任で作成したものです。

関口 ほづみ 議員

## 図書行政の充実を

**問** 村の図書室について、近隣の市の図書館を利用したいという要望が多い。河内長野・富田林市に協力を求め、実現を。

**答** 平成23年度に国の交付金を活用し、システム整理でインターネット予約や、図書の増冊を行い充実に努めている。相互貸し出しは規模の小さい図書室と市の図書館では市にとってメリットがなく難しい。

**要望** 昨年6月にも質問したが、

## くすのき号の復活を

**問** 社協が運行している、送迎事業は、制限があり、いつでも気軽に利用することはできない。くすのき号を小型化して復活を。

**答** くすのき号の復活は考えていない。高齢化による移動手段の施策は必要と認識しており、総合計画で公共交通の検討を重要施策として検討している。

## コミュニティホールのトイレの改修を

**問** 小吹台コミュニティホールのトイレは和式で段差があり、利用しにくい。改修を求める。

その後、河内長野市や富田林市に要請もしていない。住民の要望に応えるという努力がない。せめて相談に行くべきだ。



くすのきホールの図書室

**問** 村政運営方針では昨年も同様に「高齢化に伴い、移動手段の確保、買い物弱者対策など：公共交通のあり方について総合的に検討する」とあるが具体策は検討されているか？

**答** いきいきサロン送迎事業の状況など調査したが、具体的なことについては検討していない。

**答** 段差など、認識している。平成25年度に校舎の耐震補強工事をする時に実施したい。

## 人口の増加策は

徳丸 幸夫 議員

**問** 村の人口は、このままだと6千人を割り込む。人口を維持する施策として、「引き続き定住促進に関する施策の調査・研究を進める」と所信で表明している。具体的にはどうするのか。

**答** 現在、乳幼児医療費助成事業、中学校の英語検定など、子育て対策の実施など定住促進につながる事業を展開しており、

今後、妊婦健康診査の公費助成の拡充、中学校給食の導入など、さらに充実を図る予定だ。定住促進には、子育て対策だけでなく、医療、商業、雇用、交通対策などの強化・充実も必要だ。引き続き子育て対策を推進するとともに、各分野における定住促進策を図るため、全庁的な取り組みを進めたい。

## 道の駅の拡充を

**問** 共産党の村づくりアンケートには「道の駅と直売所を合併し、農協とタイアップし運営を」

「農産物の共同生産で安く販売を」「河南の道の駅と比べれば見劣りがする」など道の駅に関する意見がたくさん寄せられている。「奉建塔周辺地域について、村づくりの中心的拠点として整備を図るよう検討を進める」と所信で述べているが具体的にはどうするのか。

**答** 道の駅の本来の目的の機能は備えており、見劣りするとは考えていない。しかし、後発の道の駅では、規模の大きい販売施設などが併設され、賑わいを見せている。今後は、道の駅も

含め、楠公誕生地一帯を村の観光の拠点として、どのようにするか検討したい。



道の駅

## 職員の意識改革は

浅野 利夫 議員

**問** 昨年4月の統一地方選挙以降、当時の橋下大阪府知事（現・大阪市長）のもと府市統合や権限委譲など、様々な大改革が進められている。

村長は常々「意識改革が不可欠である」と言っているが、どのような取り組みをしたのか。

昨年から5人の職員採用もあり、新旧職員の意識がどのように変わったのか。

真の地方分権社会を迎える様々な大改革を進めている。

昨年11月に「本村が目指すべき職員像」を明らかにし、「千早赤阪村人材育成基本方針」を作成、実行したことにより意識改革と意欲が向上してきた。

また新人職員の採用により職場が活気づき、新旧職員の刺激による相乗効果もあり、明るく活力ある役場になってきた。

## 危険個所にガードレールの設置を

**問** 本年2月に村道川西1号線の脇から、バイクで転落する大事故が発生した。以前から危険箇所としてガードレールの設置を要望している場所である。

毎日約40名の小中学生が登下校しており、同様の事故を再発させないためにも、安全第一で早急に対策が必要である。

**答** 現在の村道に車両用ガードレールを設置するには、道路構造上困難であるが、ガードパイプは設置可能である。道路の有効幅員を確保し、技術的課題や工事手法の検討、地元との調整等を行い、早急に安全面の確保

を図っていききたい。



村道川西1号線



(すいせんの丘)

## 議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は、下記の日程で開催の予定です。

### 平成24年第2回(6月)定例会の日程(予定)

会 期	会議の内容
6月 5日(火)	・本会議初日 (議案上程・審議)
〃	・各委員会等
6月15日(金)	・本会議最終日
(11日間)	(追加議案上程、審議、 一般質問)

※開会時間は、いずれも午前9時30分です。日程は都合により変更となる場合がありますので、傍聴される方は事前に議会事務局へお問い合わせください。

(TEL 0721-72-0081)



### 100号発刊にあたって

村民の皆様には、平素から議会に対し、格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、月日の経つのも早いもので昭和62年に創刊号を発行して以来、今回の発行をもって、100号という佳節を迎えました。

広報委員会では「特集号」を企画しようということになったものの、いざ編集となると方向性がつかめず悩みました。そこで、村民の皆さん

にもご投稿いただきようお願いしたところ、快諾をいただき特集号ができてきました。

昨年は未曾有の災害がおこりました。今年は鎮魂と新生の声が聞こえる年であり、夏にはロンドンオリンピックも始まります。

この100号を新たな飛躍の出发点として、広報委員一同、がんばりますので、今後ともご愛読のほどを、よろしくお願い申し上げます。

広報編集委員会